



おぐに議会だより

第27号

平成29年5月10日

- 北里耕亮町長の議会での
発言に対し反省と謝罪を求める決議
- 小国町議会議員の議員報酬の
特例に関する条例を制定
- 平成29年度 3月定例会議
- 町政を問う(一般質問)

北里耕亮町長の議会での発言に対し反省と謝罪を求める決議

町長は、昨年3月の定例会で、副町長の人事案件上程の際に提案理由の説明の中で「うまくいくように最大限努力しますが、うまくいかない時は一定の責任、職をかけて、町長という職をかけてやっていきます。」と発言し、議員の質問にも「私としては、この部分に「かける」ということは「職をかける」町長というこの立場や職をかけてやっていきたい。」と再度答弁した。

その後、副町長は酒気帯び運転により任期を全うする事なく任期途中で解職となった。

そして事件後も町長は、「町長としての職務を務めて行きたい」と続投する意思を貫いている。この事実は結果、虚偽の発言をしたとも取られ、議会制民主主義の根幹をも揺るがす行為である。

言うまでもないが、二元代表制の元で執行機関と議会は独立・対等の関係に立ち相互に緊張関係を保ちながら協力して自治体運営にあたる責任を有している。その意思決定の場でのこの発言はあまりに町長としての見識・自覚にかけ資質を疑われる事であり町長の不信任にも値する行為である。

議会内での発言にはそれだけの重さと責任がある。

よって、北里耕亮町長の発言に対し猛省と謝罪を求めるものである。

以上決議する。

平成29年3月7日

小国町議会議員



小国町議会議員の議員報酬の特例に関する条例を制定

小国町議会は副町長の事件を重大な案件であると捉え、この事件の責めは本人にあるとはいえ、町民並びに町執行部と一緒に町の活性化を進めるべき議会もその責任の所在を明らかにするため、議員間協議を行い副町長の残任期間においての1年間、全議員の報酬を5パーセント削減し、自らの襟を正すこととした。



平成29年度当初予算

○一般会計予算・・・総額48億5,260万円の当初予算

賛成多数

反対討論 ①消防団員の出勤手当の出し方が適当ではない。②必要でない景観審議会委員の報酬が予算計上されている。③いまだ同和関係予算が組み込まれている。(児玉議員)

【主な内容(抜粋)】

- ・公共施設等総合管理計画作成支援業務委託料 151万円
- ・地域おこし協力隊報酬 800万円
- ・乗合タクシー運行委託料 1,656万円
- ・地籍調査業務委託料 1億6,127万円
- ・婚活支援対策業務委託料 90万円
- ・小国町有害鳥獣防除柵設置事業補助金 127万円
- ・中山間地域等直接支払交付金事業補助金 6,730万円
- ・農業担い手支援給付金 600万円



ゆうステーション



鍋ヶ滝駐車場

- ・多面的機能支払交付金 3,370万円
- ・有害鳥獣駆除補助金 260万円
- ・間伐材供給安定化緊急対策事業補助金 2,200万円
- ・小国杉使用建築物支援事業補助金 659万円
- ・ゆうステーション周辺整備工事 3,050万円
- ・小国町商店街空き家対策事業補助金 300万円
- ・鍋ヶ滝公園整備工事 4,600万円
- ・橋りょう点検委託料 2,050万円
- ・復興まちづくり計画策定委託料 1,000万円
- ・スクールバス委託料 4,450万円

○国民健康保険特別会計予算・・・総額13億3,420万円の当初予算

賛成多数

反対討論 ①予算の歳入である保険料が高すぎる。②その結果、高齢者の生活の質が低下する。③個人の負担が増える割には給付が減る。(児玉議員)

○介護保険特別会計予算・・・総額10億5,563万円の当初予算

賛成多数

反対討論 上記と同じ理由 (児玉議員)

○後期高齢者医療特別会計予算・・・総額1億887万円の当初予算

賛成多数

反対討論 上記と同じ理由 (児玉議員)

○地方改善施設住宅新築資金等貸付金特別会計予算・・・総額62万円の当初予算

全員賛成

○坂本善三美術館特別会計予算・・・総額1,422万円の当初予算

賛成多数

○簡易水道特別会計予算・・・総額700万円の当初予算

全員賛成

○農業集落排水事業特別会計予算・・・総額1億3,506万円の当初予算

全員賛成

○水道事業会計予算・・・総額1億3,642万円の当初予算

全員賛成

総務文教福祉常任委員会 委員長報告



総務文教福祉常任委員長 松崎 俊一

3月定例会の初日に付託された案件（一般会計1件・特別会計5件）について3月8日と13日に総務文教福祉常任委員会を開催しました。審議の結果は、原案のとおり可決承認すべきと議決しました。



産業常任委員会 委員長報告



産業常任委員長 松本明雄

3月定例会の初日に付託された案件（一般会計1件・特別会計3件）について3月14日に産業常任委員会を開催しました。審議の結果は、原案のとおり可決承認すべきと議決しました。



代表監査委員に石松雄平氏



3月定例会初日に執行部から、代表監査委員の選任についての議案が提出され、黒淵の石松雄平氏が議員全員の賛成により、新しい代表監査委員に選任されました。

今回の選任については、前任の室原知邦代表監査委員の任期満了に伴うものです。

前任の室原知邦代表におかれましては4年間お疲れ様でした。

平成28年度 一般会計補正予算

【主な内容(抜粋)】

乗合タクシー運行委託料 100万円、障がい者福祉費 1,230万円、医療費一部負担金 320万円、道路維持費（修繕・除雪作業） 850万円、殿町大規模火災解体撤去工事 800万円、農地災害復旧（修繕） 200万円、国保会計繰出金 3,700万円 及び各予算項目の不用額の減額補正を行い総額で約467万円の増額補正

全員賛成



殿町火災現場(解体撤去終了)



除雪風景

○国保特別会計補正予算

保険給付費 310万円、共同事業拠出金 △1,851万円など 約△1,691万円の減額補正

全員賛成

○介護保険特別会計補正予算

主治医等意見書料 7万円の増額補正

全員賛成

○簡易水道特別会計補正予算

主に簡易水道施設災害復旧事業分担金で△513万円の減額補正

全員賛成

採決結果一覧表

(条例などの名称は一部短縮して記載しています。)

	議案番号	事件名	採決結果	穴井	大塚	北里	高村	児玉	時松	穴見	松崎	熊谷	時松	松本
				帝史	英博	勝義	祝次	智博	唯一	俊一	博行	昭弘	明雄	
3月定例会(3月7日～21日)	決議第1号	町長の発言に対し反省と謝罪を求める決議 …町長の議場内での発言に対して反省と謝罪を求めたもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	決議第2号	議会議員の議員報酬の特例に関する条例制定 …議員報酬の5パーセントを1年間減額するもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第3号	税条例等の一部改正 …特別税額控除2年延長、軽自動車の環境性能割の創設他	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
	議案第4号	一般職の給与に関する条例等の一部改正 …扶養手当の見直し	可決	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○
	議案第5号	勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正 …介護休暇の分割、介護時間の新設、子の範囲の拡大	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第6号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正 …子の範囲の拡大	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第7号	介護保険条例の一部改正 …低所得者の第1号保険料軽減の継続	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第8号	開発センターの設置及び管理条例の廃止 …センター取り壊しによるもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第9号	水道事業の設置等に関する条例の一部改正 …簡易水道の給水区域を上水道の給水区域への変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第10号	簡易水道事業給水条例の一部改正 …簡易水道の給水区域から上滴水道を除外するもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算	議案第11号	平成28年度一般会計補正予算(第10号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第12号	平成28年度国保特別会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第13号	平成28年度介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度予算	議案第14号	平成28年度簡易水道特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第15号	平成29年度一般会計予算	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
	議案第16号	平成29年度国保特別会計予算	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
	議案第17号	平成29年度介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
	議案第18号	平成29年度後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
	議案第19号	平成29年度地方改善住宅資金貸付金特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第20号	平成29年度坂本善三美術館特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	議案第21号	平成29年度簡易水道特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第22号	平成29年度農業集落排水事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第23号	平成29年度水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人事	同意第2号	代表監査委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	同意第3号	教育委員会委員の任命	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
追加議案	議案第24号	公の施設の管理指定(ゆうステ・杖立Pホール)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第25号	公の施設の管理指定(ゆけむり茶屋)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第26号	公の施設の管理指定(障害児福祉施設)	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
	議案第27号	町長の給与の特例に関する条例制定 …給与の50パーセントを1年間減額するもの	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第28号	平成28年度一般会計補正予算(第11号)	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
臨時議会(2月6日)	議案第1号	町長の給与の特例に関する条例制定	否決	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×
	議案第2号	平成28年度一般会計補正予算(第9号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	同意第1号	固定資産評価員の選任	同意	全員賛成により同意										



心のかよった被災者支援を

児玉 智博

【町長】災害支援住宅の戸数と間取り、面積はどのようになっているか。

【総務課長】帯田住宅6戸、元下城小教職員住宅1戸の計7戸を準備している。帯田は40平米で間取りは居間6畳とフローリング4畳半に台所、風呂、トイレ完備。下城は55平米でフローリング4畳半と和室が6畳に台所、風呂、トイレ完備という状況だ。

【町長】これまでに、家族が多いため被災住宅が手狭で入居できなかった事はありますか。

【総務課長】今年はいくつかあった。個人で住宅を探したと聞いている。間ある程度の世帯人員に対応できるように住宅を用意しておくべきではないか。空き家バンクも活用して、大家族向けの被災支援住宅を用意すべきだと思いが。【総務課長】空き家住宅や町営住宅を災害時や緊急時に優先的に入ってもらうのは必要だと思っている。

【町長】火災や自然災害では、家と同時に家財道具も失う事になる。



下城災害支援住宅

ただでさえ困難な中、急に家財道具を揃えるのは大変だ。万が一の時、すぐに貸し出せるような家電を準備しておくべきだと思うが、見解を求めます。

【総務課長】緊急時に支援物資を募れば良い。

【町長】被災者に寄付しろとは言っていない。貸し出しにすれば使い回せる。

【町長】ご意見として踏まえておく。



バイオマス・エネルギー 今後の在り方

熊谷 博行

【町長】木魂館・公立病院・老人介護施設に新設したバイオマスボイラーの今後の考え方は。

【政策課長】地熱とバイオマスを活かした農林業タウン構想の実現、低酸素の社会づくりを目指す。

【町長】今後はボイラーは、設置しないのか。

【町長】今後は、木材チップを小国の素材で賄う様にして、学校施設・町営住宅等で検討して行く。

【町長】燃料となるチップは確保出来るのか。

【町長】4月の運転開始には間に合わないが、将来は確保出来る様にして行く。

【町長】間薪やチップも燃やして熱交換し暖房に用いる。今後、発電して売電する考えは。

【町長】かなりの設備投資になる。発電効率等で採算が取れるかが問題。

【町長】教育長が挨拶の中で「智徳体」バランスの取れた教育を目指す」と話した。「体」の部分の説明がなかったが。



公立病院バイオマスボイラー

【教育長】小学校では、柔軟性と持久力、中学校では、持久力が大きな課題と考えている。

【町長】持久力等の検討会議を行っているのであれば、実行に移してはどうか。次に小学校の部活動について問う。

【教育長】昨年8月から小学校運動部活動検討委員会を発足し検討している。

【町長】今年8月で一年になるが、どの程度進んでいるのか。

【教育長】メンバーと小国型の在り方を検討している。

【町長】一番大事な外部指導者を入れ、前向きに進んでもらいたい。

【教育長】スピード感を持って進めて行く。



職務代理者について

時松 昭弘

【町長】近年災害の発生が多く、我が町でも地震・豪雨・火災等が発生している状況にある。町の危機管理の在り方や職員の業務の取り組み、指揮系統の確立等が必要になってくると思うが、職務代理者は自治法にも規定されているが過去に置いた事例は。

【町長】指揮系統と言うのは大事であり、町には代理者規則がある。【総務課長】法には長に事故、また欠けたとき代理者をおく規定になっている。

過去には前町長時代に置いたことがある。

【町長】危機管理体制の確立を図るためにも職務代理の主旨を明確にして実行して行く必要があると思うが。

【町長】意見の部分が大半だと思う。今後は予期せぬ事態も十分考えられるので、臨機応変に対応したい。

【町長】今後は、設置規程を見直して執行業務に当たって頂きたい。

【町長】長期間、町を離れる場合

はしっかりと対応したい。

【町長】昨年より、企業版ふるさと納税制度が出来ているが状況は。

【政策課長】ふるさと納税で27年度は約5千7百万円の納税。返礼品は2千8百万円となっている。

【町長】森林整備等で興味を持っている東京の会社や小国出身の経営者の方から寄付を頂いた。

【町長】企業版ふるさと納税制度は、税負担の軽減効果もあり制度の主旨を理解して、税収の確保に努めてほしい。

【町長】広報等での周知を行い検討して行く。



小国町役場



産業分野、農業分野、福祉分野の課題について

時松 唯一

【町長】観光バスの駐車場不足の解消が求められているが、対象となる町有地の有効利用を考えているのかを問う。

【町長】土地の広さを測り、適正であるか調査を行い決定していきたい。目視したレベルでは少し狭いのではないかと考えている。

【町長】国道387号線の木魂館〜阿蘇鶴にかけて、店舗経営者からトイレ不足で困っているという話があるが、公衆トイレの設置を行う考えはないかを問う。

【町長】民間活動が盛んである中、観光客が店舗へ立ち寄りトイレを利用することは然るべきではないかと考える。また、トイレ単体での設置には管理費等非常に経費がかかるため慎重にならざるを得ない。

【町長】圃耕作放棄地の活用、農業経営における農機具購入費の経営圧迫、農業後継者の育成、農産物の付加価値への取り組み等、農業分野における各課題について考

えを問う。

【町長】小国米の高評価をうけて積極的に販売に取り組みたい。野菜では付加価値ができる新しい特産品を考えていきたい。また現在の加工品売り場面積の拡大等を考えている。

【産業課長】農業の諸問題を解決すべく上田地区の農業法人化が進められておりそれに取り組んでいる。農産物の付加価値では生産者や組織へのサポート事業、制度が熊本県で行われており連携して進めていきたい。

【町長】公園遊具での事故により、各市町村で裁判が行われている現状で、新設した公園遊具の維持管理、担当部署、並びに事故発生時の対策について町の体制を問う。

【福祉課長】所管は福祉課となる。維持管理は定期点検を実施する。事故発生時に町に責任があれば対応できる保険に加入している。

【町長】遊具の点検、遊具への保険、対人への賠償保険の加入を行っている。



学校跡地の今後は

穴井 帝史

問 学校跡地の現状は。

【総務課長】平成21年に小学校が統合し8年が経過した。校舎について、耐震強度がある旧万成小学校と旧西里小学校は利用しているが、強度が不足している下城小学校・北里小学校・蓬萊小学校については利用していない。

問 全校とも、グラウンドは維持管理が出来るが理由は。

【総務課長】一時利用後、利活用検討委員会と協議し、協議会に補助金を出している。
問 耐震性のない校舎について今後の考えは。

【町長】北里小・下城小・蓬萊小は取り壊しも含めた検討を行う。耐震化されている万成小・西里小は積極的な使い方を検討したい。



旧北里小学校とグラウンド

問 旧西里小は雨漏りしていると聞くが、その対策は。

【町長】財源確保が出来次第、補正予算で対応したい。町の財産であるため、安全面を考え、順序立てて協議していく。



殿町火災現場の復興は

大塚 英博

問 殿町火災現場は、片付けが完了するまで非常に長い月日を要した。復興においても、今後、町は積極的に地域、町民の意見を聞きながら、用地買収や区画整備等を実施する考えはあるか。

【町長】町民や地域の方々の考え、又所有者の考え等を聞きながら慎重に取り組む。
【総務課長】熊本地震復興まちづくり計画に関連付けていければと思っている。
問 有害鳥獣の捕獲後の処理加工施設の必要性について問う。

【産業課長】小国郷の鳥獣被害防止広域対策協議会の組織を通じて、南小国町とも話し合いながら検討を行っていく。
問 災害に強いまちづくりについて問う。公民館や集会所等の施設の補修、改修、耐震化等、又備品等についても、まちづくり計画の中に入れて策定すれば

と考えるが。
【総務課長】今回の熊本地震において避難所の耐震化が問題になった。指定避難所とそれぞれの公民館等の避難場所の差や車中避難の問題が浮き彫りになっている。平成29年度を含む復興まちづくり計画の中に盛り込んで進めていきたい。



片付けが終わった火災現場



遊具公園の完成に期待

穴見 まち子

【町長】現在、けやき広場の中に遊具公園が設備実施されている。公園は遊び場だけでなく、お母さん、お年寄り達の交流の場にもなり、子育ての環境整備にはなくてはならないものだと考える。公園の概要は。

【福祉課長】けやき広場の中に、幼児・低学年児童向けの、3種類のスライダー、コンビブランコなどの複合遊具施設を設置している。

【町長】子どもは社会の希望であり宝だ。未来の力となる子どものために、環境を整備し、子どもが健やかに育つ小国町を目指してほしい。

【町長】子どもたちは、未来を担う貴重な存在であり、私も大いに期待している。ふるさとを愛していただけるような子供に育ててほしいと思っている。

【町長】小国町の出生数は、平成28年度1年間で50人を超え前年に比べて増加傾向にある。



けやき広場遊具

【町長】今後の保育士不足に備え保育士の人材育成や保育園の建替え等の考えは。

【保育園長】職場体験を通して、現在の子ども達が、保育士を目指してほしい。

【町長】保育園の建替えは計画にはあるが、現在は先の熊本地震により災害復旧等の対策に追われている。



地方創生および、農業の活性化について

高村 祝次

【町長】地方創生における再生エネルギー（地熱発電）について、九電への配電に用いる電線が容量不足でストップしている状況の中、今後の計画（電線の張替え・熱水の有効利用等）を問う。

【政策課長】日田営業所管内における接続には数年の時間を要する。国の地域経済好循環プロジェクトをうまく活用し資金を引き出すプランを練りながら進めていきたい。熱水については、木材の乾燥をはじめ食品加工、ハウスの栽培、住宅、福祉施設等に利用できるとは考えられる。

【町長】関心するさと納税返礼品に小国米を柱にする考えを聞き、具体的計画（販売量等）を問う。

【政策課長】事業者（個人・団体等）を募り登録制とし、返礼品を返している現状。販売に関しては、付加価値をつけて高値で売れるよう事業者の方にブランドづくりをお願いしたいと考えている。量については把握できていない状況。PRする方向から始めたい。

【町長】関心するステーション周辺整備において葉野菜の里の運営方針を問う。

【町長】現在、協議会を組織し町直営で非常勤2名を配置。堆肥づくりに非常勤1名。産業課職員も頻繁に出向き、てこ入れしている。指定管理については議会の意見を聞きながら決断したい。

【町長】中山間地域等直接支払交付金事業および多面的機能支払交付金事業における、加入戸数とお金の配分を問う。

【産業課長】中山間事業費6千万のうち半分は農家733戸のほうへ、半分は地域の共同活動の取り組みに配分している。多面的事業費は直接支払いではなく、日当等での支払いとなり取り組み集落数は28となっている。

苓北町議会研修

12月21日に議長・副議長・議会運営委員長で苓北町の議会研修を実施しました。研修の目的は、現在の予算・決算審議のあり方についての検討です。苓北町の議会は、予算・決算検討特別委員会を設置し議員全員で審議しているとの事でした。

(小国町は、予算は常任委員会で、決算は全員協議会で審議しています。)



苓北町議会視察の様子

議員勉強会

1月13日(金)午後1時から小国町隣保館2階会議室で、議員勉強会を開催しました。勉強会は不定期に開催しており、今回は一般質問の質問内容や予算・決算の審議方法についての勉強をしました。

また、2月1日と17日には、副町長の任命責任と議会での町長の発言について話し合いました。



議員勉強会の様子

平成29年第1回・第2回開発センター建替え検討特別委員会

- 2月6日10時と3月21日の議会終了後に、開発センター建替え検討特別委員会を開催し、建替えに伴う基本設計について審議しました。
- 今回の審議で基本設計を終え、次回からは実施設計について検討して行く予定です。



解体前の開発センター



センター解体中(4月24日現在)



センター解体中(4月12日現在)



3月21日 開発センター建替え検討特別委員会

全員協議会

- 2月2日(木)午前9時から第1回全員協議会が小国町隣保館で開催され、農業委員の定数についての協議をしました。
- 2月17日(金)午前10時から第2回全員協議会が小国町隣保館で開催され、小国町の公の施設指定管理者の募集方法等についての協議をしました。
- 2月28日(火)午後1時30分から第3回全員協議会が小国町隣保館で開催され、副町長の任命責任と町長の発言の件についての協議をしました。
- 3月3日(金)午前9時から第4回全員協議会が小国町隣保館で開催されました。
全員協議会では、3月議会に提出される条例(改正条例7件)、平成28年度補正予算、平成29年度予算についての説明、質疑が行われました。



3月3日 全員協議会の様子

- 3月21日(火)特別委員会終了後に第5回全員協議会が小国町隣保館で開催され、ゆうステーション周辺整備工事の件についての協議をしました。

編集後記

平成29年度がスタート致しました。三月議会も無事終わりました。大切な予算議会でも長期に話し合われました。

今年は、遅い春を迎えられ過ぎしやすい季節となりました。私たち広報委員も3年目に入ろうとしております。町民の皆様が一人でも多く「議会だより」を手にとって頂ける様、邁進しております。

今後は、殿町火災跡地の方向性や、旧開発センター建替えの進捗状況等、皆さまがご心配している所ではないでしょうか。些細なことでも結構ですので色々質問をして頂きたいと思っております。

今年1年、広報委員4人と事務局とで頑張って参りますのでよろしく願います。

(熊谷 博行)

【発行責任者】

議長 渡邊 誠次

【広報委員会】

委員長	熊谷 博行
副委員長	穴見まち子
委員	松崎 俊一
委員	穴井 帝史